

公民館だより

平成28年(2016年)12月15日発行

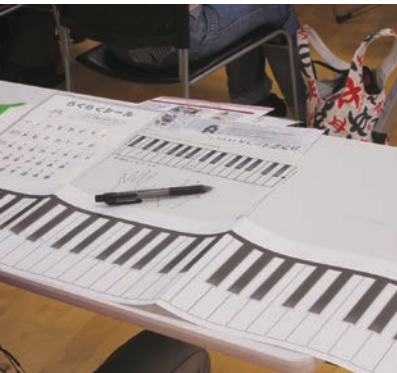
中央公民館開設50周年記念特集号

〈No.150〉

編集 公民館だより編集委員会
発行 日野市中央公民館
〒191-0011
日野市日野本町 7-5-23
電話 042(581)7580
FAX 042(581)2110
E-mail pubhall@city.hino.lg.jp



公民館ホームページ
QRコード



お め で と う
あ り が と う



中央
公民館

は 50 周年を迎えました



公民館だよりは今号で 皆さまのおかげで

150号

公民館だよりは昭和56年(1981年)3月に創刊しました。現在は年4回(3・6・9・12月)発行しています。誌面は市民編集委員により作成されており、公民館の講座やサークルの紹介など、公民館の情報誌として長い間、親しまれてきました。今後も市民の皆さまと共に魅力ある誌面を作っていきます。ぜひ、ご覧ください。

公民館だよりの歴史



←創刊号はこんな感じでした

当時の教育長が創刊に当たって「公民館活動に積極的に参加される中で、それへのご意見を、広く頂きたいものです。」と寄稿しています。今後も皆さまから公民館だよりを見て、ご意見をいただけるよう誌面を作成していきます。

←現在の題字が完成(5号)

公民館だよりの題字はこの号から登場しました。その後、大きさや刷り色の変更もありましたが、題字はこのまま現在に至っています。

「日野の国境を歩く」→ (49号)

現在も続く「日野の風景」(88号～)、「サークルの仲間たち」(52号～)をはじめ、「日野の用水」(27号～37号)など、人気の連載記事もいろいろありました。



公民館だよりはこれまで多くの市民編集委員により作成されてきました

公民館だよりには歴代の市民編集委員のアイデアが生かされてきました。10号～115号に100回登場して、市内のいろいろな場所を紹介してくれた「コアラ君」。当時の連載を書いていた叶内さんに150号を記念して寄稿していただきました。今後も、市民の皆さまとともに「公民館だより」を発行していきます。ぜひ、一緒に公民館だよりを作りましょう。

現在の編集委員から

- ・地域デビュー4年目、公民館に集う人々の活動を目にし、取材でお話をうかがい、一人ひとりの力が地域を豊かにしていることが分かりました。正確な記事、分かりやすい文章を心掛けたいと思います。(S)
- ・公民館50周年おめでとうございます。私は地域活動を色々やっていましたが、定年を迎え、活動範囲を広げたく編集委員を頑張っています。色々な人にお会いでき、楽しく活動しています。(O)
- ・取材に訪れたサークルで「市民の編集委員です」と告げると、ふっと和やかな空気が流れます。そうして得た雰囲気の記事にと心掛けました。「日野の風景」では、昔、富士山の灰が日野まで飛んで台地を作ったことや、そこで育った東光寺大根がすうらりと長い理由を調べて知りました。ミクロに見る立場が気に入っています。(H)

一緒に公民館だよりを作りませんか？

「写真を撮るのが好き」「コラムが書きたい」など好きなことを生かしてみませんか。詳細はお問い合わせください。

コアラ君の、市内さんぽ 150号記念
150号記念おめでとうございませう。
「コアラ君の市内さんぽ」でおなじみの「TAMAZOO」を久しぶりで訪ねました。
オーストラリア園のコアラ君は、小さなお友達のフクロギツネやモモンガ、ネズミカンガルーなどと、コアラ館で元気でました。幼稚園や小学校のお友達、シャトルバスで遊びに来てくれると、とても嬉しいそうです。



かのうち まさこ
叶内匡子さん



公民館情報案内

●公民館だより

今号は特集号のため「広報ひの」に折り込みでご覧いただいておりますが、通常はA3二つ折りのコンパクトな情報誌です。市内の主な公共施設に配置しています。

●公民館HP (<http://kouminkan-city-hino-tokyo.jp/>)

公民館HPでは、講座やイベントなどの案内を掲載しています。また、公民館だよりをバックナンバー含め、カラーで見ることができます。ぜひご利用ください。

●公民館ツイッター (@hino_kouminkan)

公民館ではツイッターでイベント案内などさまざまな情報を発信しています。フォローお待ちしております。

中央公民館50年のあゆみ

1966年(昭和41年) 中央公民館が旧日野第一中学校跡地に完成 ①

1967年(昭和42年) 中央公民館で「第1回日野市産業まつり」が開催

1973年(昭和48年) 生涯教育の学習の場として「公民館講座」が開講

現在では、公民館で活動するサークルは200近くとなっています

1975年(昭和50年) 障害者青年学級事業が開始

「ともに生きともに学ぶ」という理念を実現する ②

1980年(昭和55年) 障害児少年学級事業が開始

1981年(昭和56年) 「公民館だより」が創刊

昭和59年からは、編集に市民委員が参加し公民館だよりを発行しています

1985年(昭和60年) 公民館利用者交流会が発足。利用者と公民館合同の年末大掃除が始まる

「みんなの公民館をみんなできれいに」をスローガンに現在も続いています ③

1986年(昭和61年) 公民館開設20周年記念祭を9日間開催

1989年(平成元年) 公民館ミニまつりを開催。現在の公民館まつりの原形となる ④

サークル間の交流が深まり、ますます公民館の役割が高まります

1990年(平成2年) 防音設備を備えたホールを増設、障害者トイレの設置

ミニコンサートや朗読会などの「バラエティサロン」が始まりました ⑤

1991年(平成3年) 保育室が完成する

保育付きの公民館講座をきっかけとし若い世代による新たなサークルが生まれました ⑥

1992年(平成4年) 「外国人のための日本語教室」事業を開設

外国人が公民館に集い、学ぶきっかけとなりました ⑦

1995年(平成7年) 「戦後50周年平和事業～8月に何があった」を開催

その後、公民館平和事業として定着しています

1997年(平成9年) 第1回「ひのアートフェスティバル～真夏の夜の夢」を自然体験広場(現在の仲田の森蚕糸公園)にて開催

公民館講座をきっかけに始まった市民手作りによる夏のイベントです ⑧

2004年(平成16年) 中央公民館高幡台分室が教育センター内に開設。

「ひの市民大学」事業が公民館へ移管される

「いつでも、どこでも、だれでもが学べる場」として、市民自ら企画運営を担い、学びの場を提供しています ⑨

2005年(平成17年) 第1回高幡台分室まつりを開催

2010年(平成22年) 市民委員により「日野市公民館基本構想・基本計画」を策定

「市民による市民のための公民館～地域に生きる市民の底力～」を基本理念に決めました

2011年(平成23年) 公民館ホームページを開設

2016年(平成28年) 中央公民館開設50周年

公民館まつりを拡充して実施。50周年記念「お祝いの会」や記念講演会を行いました ⑩

談話室や中庭などを整備し「新しいことが生まれるみんなの居場所」として新たな活用を進めています ⑪



公民館で 新しいこと みつけよう

公民館は、いつでも、どこでも、だれもが、学び・学びあう機会を提供し、市民の自主的な学習活動の支援を行う社会教育施設です。

50年を迎えた公民館…学びから生まれる人のつながりを地域に広げ、時代のニーズを受け止めながら、未来に向けて公民館の可能性を拓いていきます。

好奇心は学びの原動力、だれもが学びの主人公です。

公民館で、生涯を通して学ぶことの楽しさを見つけてください。



公民館

学び・学びあう場

- ・音楽をはじめたい
- ・趣味・教養を身につけたい
- ・料理の幅を広げたい
- ・健康について考えたい
- ・サークル活動に参加したい

市内の公民館は、中央公民館（日野本町）と高幡台分室（程久保）の2館です。講座やイベントの開催、サークル活動など、年間約80,000人の利用があります。社会教育活動を行う自主サークル（5人以上）を作って登録すれば、施設を利用できます。登録には条件があります。詳細は公民館にお問い合わせください。

●中央公民館（日野本町7-5-23 ☎581-7580）



公民館には、こんな場所があります

講座室・視聴覚室・小会議室 など

音楽・教養・囲碁・将棋・朗読・ペン習字・絵画・切り絵など、さまざまなサークルが活動しています。

●調理実習室

流しやコンロなどの調理に必要な設備が整っています。

●ホール

簡易防音の部屋として、音楽やお囃子、ダンスなどで利用できます。

談話室

市民の交流、生涯学習の情報発信の場です。そして、だれもが集える自由な空間です。どなたでも、気軽にご利用できます。

このような設備もあります

●陶芸窯

陶芸講座や、陶芸サークルで利用できます。

●保育室

公民館では保育付講座や、サークル活動の保育制度があります

中央公民館、高幡台分室それぞれ部屋 の名称、特色が異なります。
ご利用の際は事前にご確認ください。



公民館

市民が気軽に集う空間

- ・楽しいことをみつけない
- ・いろいろな情報を集めたい
- ・子供といっしょの時間をつくりたい
- ・仲間といっしょの時間を楽しみたい

公民館

学びで培う 生きる力・社会を担う力

- ・自分を磨きたい、高めたい
- ・人生を楽しみたい
- ・いきいきと生きたい
- ・地域デビューを目指したい

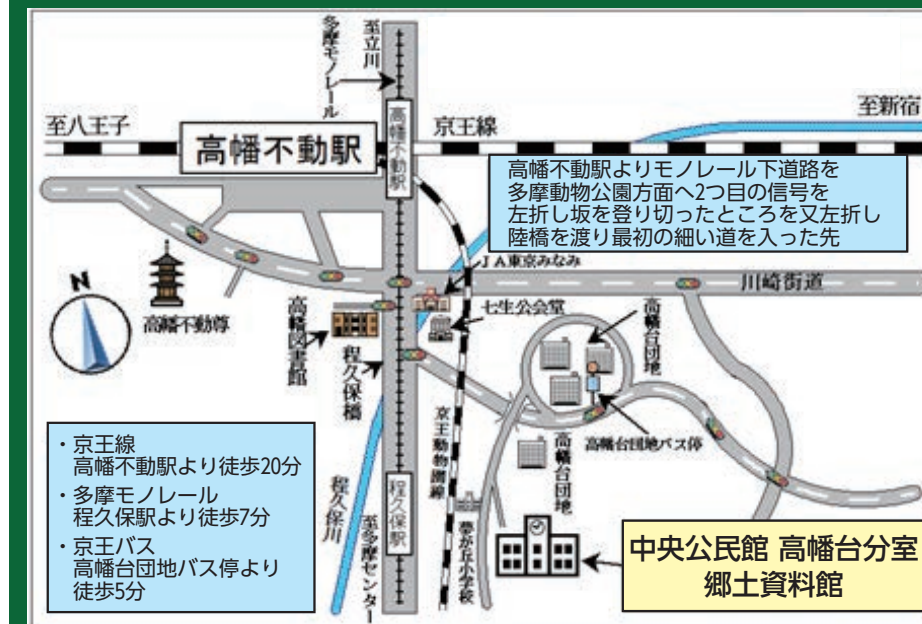
公民館

新しいことが 生まれるみんなの居場所

- ・新たな出会いがみつかる
- ・新しいつながりが生まれる
- ・人といっしょに過ごす時間に新たな価値を見つける
- ・みんなの居場所が自分の居場所



●高幡台分室（程久保550 ☎592-0864）



子ども公民館記者による新聞ができました

この夏に小・中学生を対象に実施した講座「夏休み！公民館で新聞づくり体験」から2人の「子ども公民館記者」が誕生し「ウエルカム！！公民館新聞」ができました。宮崎寧さん（一小6年）、近藤優香さん（五小4年）が見た「公民館」ってどんなところなのでしょう？



▲公民館長もインタビューに緊張？

インタビューは緊張したけれど、館長のことや公民館のことがいろいろ分かりました。楽しかったです。（宮崎）



▲うどんサークルを体験取材

うどんの作り方など、いろいろ教えてもらって楽しかったです。簡単そうに見えたけれど、実際に作るとむずかしかったです。(近藤)



※「ウエルカム!!公民館新聞」は公民館ホームページで
ご覧いただけます

中央公民館：☎ 042(581)7580 Fax 042(581)2110

高幡台分室：☎ 042(592)0864 Fax 042(594)1915

E-mail(共通) : pubhall@city.hino.lg.jp

ホームページ : <http://kouminkan-city-hino-tokyo.jp/>

ツイッター : @hino kouminkan

▽公民館だよりも創刊から35年▽「うれしいのは記事を読んだ方から反応があった時」とは、ある編集委員の言葉▽市民の力あつての150号だと感じています //

あ
と
が
き